

平成 30 年度
長岡市山古志地域ふるさと創生基金事業
提案書

長岡市山古志地域ふるさと創生基金事業実行委員会

提案書 (1)

事業名	やまこし検定事業（継続事業）
事業の概要	<p>【趣旨】 山古志の子どもたちが、自分が生まれ育った地域に関する歴史・文化・人々の暮らしなどの学習をとおして地域の魅力を再確認・再発見することにより、子どもたちの「地域の誇り」を醸成する。</p> <p>【内容】 山古志小・中学生を対象にした検定を実施する。成績に応じて合格証書、合格記念品、合格記念バッジを贈呈する。</p> <p>(1) 山古志小学校の部 地域内の基礎的なこと（集落数や施設の名称など）や『やまこしふるさとガイド』の内容を中心に出题する。</p> <p>(2) 山古志中学校の部 『やまこしふるさとガイド』の内容や山古志地域内の雑学などを中心に出题する。</p> <p>【参考】 平成 29 年度実績 やまこし検定（小・中学生） 日時：12月13日（水） 16:00～16:40 会場：山古志小中学校 受検者：13人（小学5・6年生6人、中学1・2年生7人） 合格者：10人（小学生4人、中学生6人）</p>
事業の予算額	13,000 円
実施 スケジュール	<p>平成 30 年</p> <p>11 月 検定の周知、検定問題作成</p> <p>12 月 検定の実施、結果通知等送付</p>

提案書 (2)

事業名	山古志散策スタンプラリー事業（継続事業）
事業の概要	<p>【趣旨】 4種類のスタンプを利用し、地域を巡るスタンプラリーを実施する。地域内外の多くの皆さんから、参加店舗やイベントを巡ってもらい、山古志の魅力をPRするとともに、にぎわいの創出、活性化を図る。</p> <p>【内容】 山古志地域を4つ（①種芋原、②虫亀、③竹沢、④東竹沢・三ヶ）に分け、スタンプラリーを実施する。参加者は店舗等での買い物により、スタンプを台紙に押しってもらう。3つ以上のスタンプを集めると、もれなく参加賞がもらえる。また、4つ全て集めると抽選で山古志の特産品を贈呈する。（抽選は期間終了後）</p> <p>(1) 台紙の作製 スタンプ押印欄のほか、実施ルール、地域内地図、店舗等の情報がひと目で分かるよう見やすいものにする。</p> <p>(2) 広報・周知など 支所日より、市政日より、報道機関、SNS等によりPRを行う。 地域内の店舗や直売所に実施ルール等を説明し、協力いただける店舗を募る。協力店舗からは、スタンプ押印のほか、のぼり掲示、台紙の設置をお願いする。 参加賞、特産品については、山古志ならではの品物を贈呈する。</p> <p>【参考】 平成29年度実績 期間：8月26日（土）～10月29日（日）65日間 参加店舗数：27店舗 参加賞交換場所：やまこし復興交流館おらたる 参加者：174人（4スタンプ・120人、3スタンプ・54人）</p>
事業の予算額	320,000円
実施スケジュール	<p>平成30年</p> <p>4～7月 説明、協力依頼、台紙の作製、参加賞準備</p> <p>8～10月 スタンプラリーの実施、参加賞の贈呈</p> <p>12月 抽選による特産品等の贈呈</p>

提案書 (3)

事業名	山古志盆踊り伝承事業（継続事業）
事業の概要	<p>【趣旨】 各集落のお盆行事として行われる盆踊りを盛り上げるため、ゆかたの貸し出しを行う。また、お盆行事への機運を高めるため、長岡まつり前夜祭大民踊流しへ参加する。</p> <p>【内容】</p> <p>(1) ゆかたの貸し出し 希望者にゆかたの貸し出しを行う。また、各集落の盆踊りを盛り上げている東洋大学生ボランティアへゆかたを貸し出し、クリーニング代を負担する。</p> <p>(2) 長岡まつり前夜祭大民踊流しへの参加 お盆行事への機運を高めるため、8月1日に開催される長岡まつり前夜祭大民踊流しへ参加する。練習会の開催、当日のアテンド、ゆかたの貸し出し等を行う。</p> <p>【参考】 平成 29 年度実績 お盆行事等へのゆかたの貸出 2 件 82 着（延べ数） 民踊流し練習会（7/25、7/28 日の 2 回開催） 8/1 長岡まつり大民踊流しへの参加</p>
事業の予算額	65,000 円
実施スケジュール	<p>平成 30 年</p> <p>7 月 長岡まつり大民踊流し参加者の募集 練習会の開催</p> <p>8 月 長岡まつり前夜祭大民踊流しへの参加 ゆかたの貸し出し</p>

提案書 (4)

事業名	情報発信事業（小太郎PR事業を拡充して継続するもの）
事業の概要	<p>【趣旨】 ご当地キャラクター等を用いて、山古志地域をPRするもの。</p> <p>【内容】 (1) 小太郎顔出し看板の作製 『小太郎』をPRするための顔出し看板を作製し、地域の活性化を図る（山古志闘牛場用1枚） (2) 情報発信事業の検討 山古志地域の情報発信という観点から新たな取り組みを検討する。</p> <p>【参考】 平成29年度実績 小太郎顔出し看板の作製 （古志高原スキー場用1枚、やまこし復興交流館おらたる用1枚）</p>
事業の予算額	333,000 円
実施スケジュール	<p>平成30年</p> <p>4月 顔出し看板のデザイン・仕様の決定（作製会議、発注） 5月～ 設置・活用 6月～ 新たな情報発信事業の検討</p>

▼小太郎顔出し看板（古志高原スキー場）



提案書 (5)

事業名	移住・定住推進支援事業（継続事業）
事業の概要	<p>【趣旨】 地域課題の一つである「移住・定住の推進」に向けた事業として地域に滞在する時間を延長したり、「お試し居住」として地域に住んでもらえるような取り組みを実践する。</p> <p>【内容】 NPO 法人中越防災フロンティアが実施する各種事業を支援する。 向田ロータリーハウスを活用し、市内大学生を対象とした交流イベント「(仮称) リアルぼくの夏休み」の開催や、公営住宅竹沢団地内にある復興モデル棟をお試し居住の場として活用してもらえるように整備する。</p> <p>【参考】 平成 29 年度実績 [竹沢復興モデル棟の活用] 生活環境の整備（テレビ組合への加入等） [向田ロータリーハウスの活用] 市内大学生や雪かき道場参加者を対象とした交流イベント「U-30 限定 やまの！雪遊び」の開催（2/11～12）</p>
関係団体	特定非営利活動法人 中越防災フロンティア
事業の予算額	353,000 円
実施スケジュール	平成 30 年 4 ～ 6 月 事業内容の協議、検討 7 ～ 3 月 事業実施

▼ 「U-30 限定 やまの！雪遊び」（2/11～12 日）での雪合戦、蕎麦打ち体験の様子



平成 30 年度 収支予算書 (案)

【 収 入 】

(単位：円)

項 目	予 算 額	説 明
ふるさと創生基金事業負担金	1,160,000	
合 計	1,160,000	

【 支 出 】

(単位：円)

項 目	予 算 額	説 明
第 9 回やまこし検定事業	13,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合格証書 ・ 需用費 (合格記念品購入)
山古志散策スタンプラリー事業	320,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台紙、ポスター作製費 ・ 需用費 (参加賞・特産品購入、消耗品費等) ・ 役務費 (通信運搬費、手数料等)
山古志盆踊り伝承事業	65,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役務費 (クリーニング代)
情報発信事業	333,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔出し看板作製費 ・ 役務費 (手数料等)
移住・定住推進支援事業	353,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金 ・ 役務費 (手数料等)
実行委員会運営費	76,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員謝金 ・ 事務用品費
合 計	1,160,000	